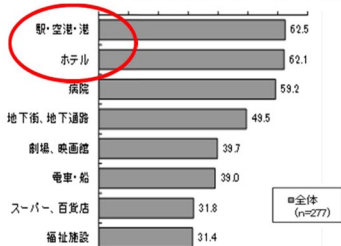


# ユニバーサルデザインを踏まえた火災警報設備等の導入・普及のあり方

(参考)

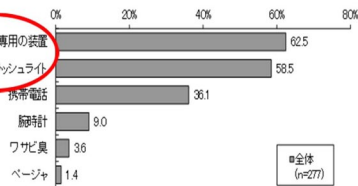
## 聴覚障がい者のニーズ(アンケート調査結果より抜粋)

Q. 自宅以外で音以外の火災警報設備が必要と感じる場所



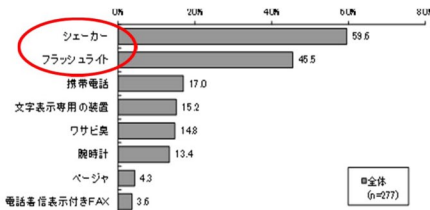
特に駅・空港・港、ホテルにおいて音以外の火災警報設備を求める声が多い。

Q. 音以外の火災警報設備を設置する際に有効な設備 (駅、スーパー等)



駅、スーパー等、多数の人がいるが火災発生を知らせてくれる健聴者の知人等と一緒にいるとは限らない場所においては、視覚的にわかりやすい文字表示や光警報が有効との意見が多い。

Q. 音以外の火災警報設備を設置する際に有効な設備 (ホテルの客室等の就寝する場所)



就寝する場所においては、振動や強い光であれば目覚められるとの意見が多い。

米英では障がい者宿泊時に、ベッドや枕の下に設置する振動パッドなどを「ホテルキット」として貸し出すサービスが、設備設置の代替措置として普及している。



光警報装置の例  
(フラッシュライト)



振動警報装置の例  
(振動パッド)